



本町の教育指標：「進取の気象」「国際性」「社会貢献」

# 嘉手納町 教育委員会だより

令和8年3月発行 嘉手納町教育委員会



## ご卒業・ご修了おめでとうございます！（2/17～3/18）

嘉手納外語塾卒業式及び海外短期留学研修報告会を皮切りに、町内小中学校及び幼稚園で卒業式・修了式が執り行われました。嘉手納中学校第78期生142名、嘉手納小学校第70期生107名、屋良小学校第118期生67名が卒業、嘉手納幼稚園55名、屋良幼稚園26名が修了を迎え、保護者や在校生、お世話になった先生方に見守られながら、思い出を胸に学び舎を後にしました。（「広報かでな」より）

### ●嘉手納外語塾



2月27日、第27回嘉手納外語塾卒業式及び海外短期留学研修報告会が開催されました。報告会では、12名の卒業生が4週間の海外留学を通して学んだことを英語で発表し、成長した姿を披露しました。続いて、卒業生が「かぎやで風」を華やかに披露し、卒業式の幕開けを飾りました。外務省沖縄事務所の紀谷昌彦大使より、ご祝辞をいただいた後、浦崎直哉塾長より卒業証書の授与と表彰が行われました。式の最後には、卒業生が未来への希望を胸に角帽を天高く投げ上げ、会場は温かい拍手に包まれました。卒業生は新たな夢に向かって歩みを進めています。

### ●屋良幼稚園



### ●嘉手納幼稚園



### 【幼稚園：お祝いの言葉（概要）】

教育長（教育長職務代理）は、凛々しく成長した姿を称え、クラス名の通り「楽しく、たくましく、素敵に」過ごした園生活を回想。園庭での挑戦で得た「がんばる心」を胸に、小学校でも自分らしく輝いてほしいとエールを送りました。保護者や地域の皆様の支えに深く感謝するとともに、子どもたちの笑顔あふれる未来を願うお祝いの言葉としました。

#### ●屋良小学校



#### ●嘉手納小学校



### 【小学校：教育委員会告辞（概要）】

教育長（教育長職務代理）は、先日の「子ども議会」での活躍を称え、福沢諭吉の「心訓」を贈りました。「一生涯を貫く仕事を持つ」「嘘をつかない」等の七つの教えを紹介し、「すべて完璧でなくていい。一つでも二つでも大切にしたいものを誇りとして守り抜いてほしい」と激励。人生の指針となる「心の根っこ」を説き、中学校へ羽ばたく卒業生の未来を、町全体で応援する温かな言葉で祝福しました。

#### ●嘉手納中学校



### 【中学校：教育委員会告辞（概要）】

教育長は142名の門出を祝し、「利他の心」の尊さを説きました。離島医療に捧げた医師や『走れメロス』を例に、「人は誰かのために尽くすとき、真の強さを手にする」と強調。目先の私利私欲にとらわれる「自分さえよければ病」に陥ることなく、先人が伝えてきた「人の役に立つ喜び」を大切にしてほしいと述べ、自他共に幸せを追求できる、強く優しい大人への成長を願うエールを送りました。



## 嘉手納中学校第33期生より寄附金の贈呈 ～還暦の喜びを次世代の育成へ～

3月9日、嘉手納町役場応接室にて、嘉手納中学校第33期生「還暦祝（同窓会）」実行委員会による寄附金贈呈式が行われました。今回の同窓会（みみの会）は、県外在住の同窓生による熱望もあり、38歳時以来22年ぶりに開催されたものです。当日は73名が集い、フォークダンスを踊るなど還暦の節目を共に祝いました。贈呈式では、代表の德里直樹氏、金城睦和氏より、会費の余剰金117,346円が嘉手納町人材育成会へ寄附されました。當山宏町長（町人材育成会会長）は「寄附いただいた浄財は、全国や世界で活躍する子どもたちへの支援など、未来の人材育成のために大切に活用させていただきます」と深く感謝を述べました。



## 嘉手納高校ウエイトリフティング部、全日本ジュニアで快挙！

3月10日、嘉手納高校ウエイトリフティング部の皆さんが町役場を訪れ、全日本ジュニア選手権での輝かしい成績を報告しました。女子63kg級では、金城凜香さん（3年）がトータル171kgで見事初優勝。大学生も出場する高いプレッシャーの中、練習の成果を出し切り頂点を掴みました。また、島袋砂羽さん（2年）も3位入賞を果たし、「100%の力を出し切れた。次は全国選抜で優勝したい」と力強く次戦への意気込みを語りました。元日本代表監督の平良真理顧問の指導のもと、日々研鑽を積む選手たち。町長・教育長からもその健闘に大きな拍手が送られました。さらなる高みを目指す彼女たちの活躍を、町全体で応援していきましょう！



## 紙芝居「千原エイサーぬ始まる」完成披露会を開催！

3月22日、北区コミュニティセンターにて、紙芝居「千原エイサーぬ始まる（はじまい）」の完成披露会が開催されました。本紙芝居は千原郷友会が中心となり、基地の中に消えた故郷の風景や、人々の「心の支え」として受け継がれてきたエイサーの歴史を次世代へ伝えるために制作されました。会場では、色鮮やかな絵による実演や、国立劇場おきなわでの勇壮な演舞映像が紹介され、町内の子どもたちへ向けた紙芝居と絵本の贈呈式も行われました。教育長は祝辞で「先人が誇りを持って守り抜いた歴史を知ることが、何より大切な学び。この『記憶のバトン』を次世代へ繋いでいきたい」と述べ、文化継承への深い期待を寄せました。



## 東区公民館講座 新たな挑戦への第1歩！笑顔あふれる学び

東区では、知的好奇心を刺激する2つの講座を開催しました。「ウクレレ教室」では、初心者から再挑戦の方までが指先に集中し、最後には和やかな音色を会場に響かせました。一方「ドローン体験教室」では、基本機能の座学から実際の操縦までを体験。参加者は最新技術に触れる高揚感を味わっていました。世代を超えて新しい趣味や技術に挑戦する姿が印象的で、どちらの会場も終始活気に満ちた、充実の学びの場となりました。

### ●ウクレレ教室



### ●ドローン体験教室



## 中央区公民館講座 多彩な学びで深まる交流、実り多きひとときを共有

中央区では、生活を彩る全7講座が無事終了しました。浴衣の着付けや琉球笛、スマホ教室といった実技講座から、人生会議や足つぼ等の健康講座、さらに県民の森での自然観察や健康麻雀まで、多岐にわたる活動が展開されました。参加者からは「趣味の幅が広がった」「地域での繋がりができた」と喜びの声が多く寄せられました。多様な学びを通じて、参加者の皆様の日常がより豊かになるきっかけを創出できた、実り多き時間となりました。



浴衣の着付け教室



人生会議



足つぼヘルスケア



健康麻雀教室



自然観察会



琉球横笛体験教室